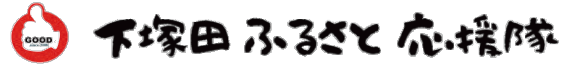


地区の皆様方へ

# 御提案頂いた 「キャッチコピー」を整理しました！



下塚田ふるさと応援隊

会長 作本眞悟

不順な気候が続いております。皆様恙無くお過ごしでしょうか？お見舞い申し上げます。

さて、「農村RMOモデル形成支援（令和6年度中山間地域活性化対策事業費補助金）」事業等に関し、初年度の取り組みを順調に消化しております。

初年度に行う重要な作業が、「ビジョン策定」です。現状の地域における「地域課題」を踏まえて、地区の将来が「如何にあるべきか？」「如何にありたいか？」等々の『ビジョン』を策定し、2年度3年度の事業（「農用地保全」「地域資源活用」「生活支援」）を方向付ける必要があります。

そこで、『ビジョン』を策定するために、先ず「ビジョンタイトル」を決める必要があります。この事に関し、広報第3号（9月1日発出）で広く地区の皆様方をお願い致しました。皆様方からたくさんアイデアやご提案、ご意見等をお聞き致しました。

つきましては、提案いただいた意見や希望を集約して、下記のようにまとめてみました。

---

地域が描くビジョン：豊かな未来のために  
私たちにしか、描けない未来がある  
“ ゆめゆたかのさと ”

ゆ 夢に向かって挑戦出来るふる里  
め めぐる思い出の場所ふる里  
ゆ 豊かで笑顔あふれるふる里  
た たたずまいが心に残るふる里  
か かけがえのない温もりのあるふる里  
の のびのびと夢を描けるふる里

裏面へ→

さ 再生可能な地域資源一杯のふる里  
と 共に助け合える心豊かなふる里

地域が目指すのは、

**「人々が安心して、日々の豊かな暮らしが途切れる事なく続く未来」**

です。このことは、「SDGs（エスディーゼーズ：持続可能な開発目標）」でもあり、すべての人々が「垣根」を越えて責任を持ちつつ、課題解決に取り組むことが大事です。

---

以上がとりまとめの概要です。御発信頂いた皆様方の御意志なりが間違いなく反映されているのか心配ですが、更なるご提案やご意見を頂けると幸いです。

さて、地域で、「ゆめ豊か」という言語が使用されるようになったきっかけは……

これについては、2006（平成18）年、地区の自治会長故谷口有（ゆたか）氏就任時、現「農地・水保全管理支払交付金（旧農地・水・環境保全向上対策：平成19～23年度）」事業の導入可否について地区で協議されました。

協議の末、地域全体でこの事業に取り組む事の合意形成がなされ、地区総会で承認された事業です。

自治会とは別組織での申請となり、組織の名称及び事業内容について、役員会で何度も協議されました。特に「組織名」においては、未来志向的発想で、時の自治会長の名前が、「有（ゆたか）」であったこともあり、「ゆめゆたか（ゆめ豊か）下塚田」という提案がなされ、役員会で承認後、住民全員参加を原則に、自治会の総会でも承認されました。

2006（平成18）年、自治会長故谷口有（ゆたか）氏が申請人となり申請されました。翌2007（平成19）年（故門川仁己氏が自治会長）に事業認定を受け、事業がスタートしました。この時の事業が、現在も継承され活動を続けています。

それ以後、地区内はもとより地区外においても、「ゆめ豊か下塚田」の名称が使用されるようになり、浸透していきました。従って、「ゆめ豊か下塚田」の名称は、今後も引き継がれて行くことでしょう。

上記の、取りまとめについて、皆様のご意見やご提案をお聞かせください。末尾に欄を設けますのでよろしくお願いいたします。

次に、10月19日（土）公民館において、県庁、市役所並びに富士通ジャパン(株)、アルデ balan(株)、(株)ことろど等の関係者の出席を仰ぎ、集中研修会を4時間に渡って開催いたしました。その後、臨時総会を開催し、議案の中で、次年度の事業計画を審議致しました。

次頁へ→

主な事業としては、本体事業は勿論ですが、

□第4号議案 次年度事業計画（案）作成着手の件

- ①「日南レモン生産出荷管理組合（仮称）」の立ち上げ
- ②「ハートレモン」プロジェクトの立ち上げ
- ③「新宿みやざき館KONNE」において「下塚田にちなんレモン」販促会の実施準備  
2025年10月25、26日前後の週末で計画 11月13日第1回打ち合わせ（東京）予定  
などを実施すべく調査研究を行なっております。

つきましては、「こんな所に視察に行つて見たい」「こんな事がやつて見たい」等のご希望がございましたら、末尾の欄に記してご提案ください。

## 今後の導入事業について

今年度既に、農村RMO事業のデジタル活用項目対応として、「農業農村情報通信環境整備（調査）」事業に着手しております。将来的には、下塚田地区内だけの「WiFi」ネット網（半径1km強）の構築を行う事により、通信は勿論、高齢者の見守り、地区内園地や河川道路等の監視カメラ、降雨センサー、園地内水分濃度センサー、ハウス施設に関する温度センサーや開閉等々、様々なスマート農業導入の根幹を成す、デジタル通信網の整備が可能です。全てを携帯電話やタブレットで完結できるシステム作りを目指したいと思ひます。

この事についても皆様方のご意見をお聞かせください。

## ロゴの募集も引き続き行なつてます



## 今後の活動予定について

- 11月13～14日 2025年実施予定の「下塚田にちなんレモン」販促会（新宿みやざき館KONNE）等におけるマーケティング 2名参加
- 11月17日（日） 細田川河川堤防の草刈り（高田・無田・常幡）
- 11月29～30日 九州農政局推進フォーラム参加（29日）  
福岡、熊本、鹿児島5箇所の道の駅視察研修（30日）3名参加予定
- 11月08日（日） 県道3号、34号線の草刈り

